

記

一解決之至心道ノ経過

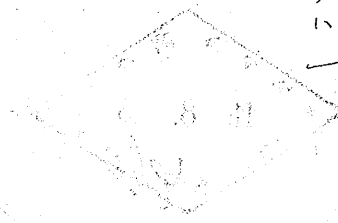
強名側之アリテハ去ル七月八日嘆願書ヲ提出以來再々再々
高島社長並ニ福山重役之存見ヲ中込ニシテ凡モ兩名共モ病氣
ノ為メ已ムヲ得ス遷延之遷延ヲ重シキ事アリシカ吉川常務ハ
高島社長並ニ福山重役ノ意ヲ作シ八月二日午後三時ヨリ組
合例鴻巣常任及従業員代表等由テ支部以下三名ノ會社事務
可ニ於テ會見折衝ノ結果左記條件ヲ以テ互海解決セリ

記

(1) 男従業員之被シテハ一人等ノ二名女従業員之被シテハ一
人等ノ一名ヲ中込トシテ支給ス

(2) 労働委員会ノ設置ハ保留ス

右及甲(通)報也



勞務第一七三四號

昭和十一年九月十九日

警視總監 石田 馨

内務大臣 齋 惠之輔 殿
社 會 局 長 官 殿

隅田川機船株式會社従業員勞働争議
關スル件 第一報

要 旨

- 1. 九月十日従業員側(後給者)勞務歎願書ヲ提出セリ
- 2. 會社側ニ於テハ社長及重役ノ慶不在ノ理由ノ下ニ確答ヲ与ヘス
- 3. 従業員側ハ手續裡ニ就業中

標記會社従業員ニアリテハ待遇改善歎願書提出ニ端リ發シ争議
發生セリカ其ノ状況左記ノ通りニ有之

